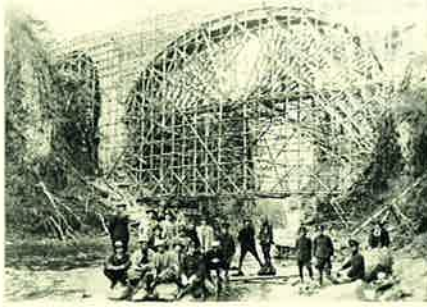


平成21年11月14日(土)

おとふけがわ

第三音更川橋りょう保全および活用フォーラム



「大雪山に登って、山岳の大（おおい）さを語れ」といわれた大雪山の東麓に、1930年代に建設された「ひがし大雪アーチ橋りょう群」という、北海道開拓の歴史を今に伝える産業遺産があります。

そのなかでも、黒石平の泉翠峡に架かる第三音更川橋りょう（登録有形文化財）は、全国的にも、ひとまたぎが30mを超える鉄筋コンクリートを使用した大規模鉄道橋の初期のものであり、建設コスト低減や自然景観の配慮への配慮を進めたことから建設技術上高く評価され、北海道内の鉄道橋の同様なお手本となりました。

しかし、建設から70年以上が経過し、あちらこちらで劣化が目立つようになってきてきており、歴史的な価値を損なわずに、これ以上劣化を進めないため防水工事等が必要となりましたが、調査の結果、それには数千万円という多額な費用がかかることがわかりました。

そこで、私たちは、この貴重な産業遺産を次の世代に引き継ぐために、市民の力で行政とパートナーシップをとりながら、保全のための工事に向けて取り組みを始めました。

第三音更川橋りょうが保全されることで、周辺の他のアーチ橋りょう等の鉄道遺産を含めた利活用が一層進み、産業遺産を通じた地域の活性化が図られるとともに、今回のノウハウが、他のアーチ橋や全国の同様な遺産の保全に役立つと考えています。

この活動が成果を上げられることを願い、多くの皆様の参加を頂きフォーラムを開催いたします。

【 当日の催し 】



アーチ橋見学会

時間：午前8時半から午後12時頃まで 参加費：無料
集合場所：上士幌町役場 駐車場（天候不良の場合は中止）

バスでアーチ橋を巡ります。撮影のポイントの参考にもして頂けます(定員35名)



参加受付：NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会

電話01564-2-3385



シンポジウム

時間：午後2時から午後5時まで 参加費：無料
会場：上士幌町生涯学習センター 201号室

【地域遺産をまちづくりにどう生かすか、を考えます】

- ☀ 基調講演：日本鉄道保存協会 顧問 米山 淳一氏
- ☀ 第三音更川橋りょう保全および活用事業についての経過報告
NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会
- ☀ 行政として本事業への取り組み 上士幌町役場 企画財政課
- ☀ 各地の実践報告
 - ・ NPO法人 北海道鉄道文化保存協会
 - ・ NPO法人 語りつぐ青函連絡船の会
 - ・ 三菱大夕張鉄道保存会
 - ・ (有)陸別鉄道銀河の森
 - ・ 釧路臨港鉄道友の会
 - ・ NPO法人 旧狩勝線を楽しむ会
 - ・ NPO法人 トロッコ王国美深
- ☀ まとめ：NPO法人 北海道遺産協議会会長 辻井 達一氏



交流会

時間：午後5時半から午後7時まで 参加費：千円
(当日会場で参加受付)
会場：上士幌町生涯学習センター 3階大ホール

【鉄道グッズのオークションなど楽しく交流します】



【お問合せ】NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会

〒080-1408 北海道河東郡上士幌町上士幌東3線239番地

TEL 01564-2-3385 FAX 2-3682

eメール arch@oregano.ocn.ne.jp <http://www3.ocn.ne.jp/~arch/>

主催：NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会

後援：上士幌町、上士幌町商工会、上士幌町観光協会、めかびら源泉郷旅館組合

NPO法人上士幌ニュービジネス研究会、NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター

(社)土木学会、(社)北海道観光振興機構、(社)日本観光協会 北海道支部、十勝観光連盟

日本鉄道保存協会、NPO法人北海道遺産協議会、北海道産業考古学会、帯広ユネスコ協会

NPO法人北海道鉄道文化保存協会、NPO法人語りつぐ青函連絡船の会、

三菱大夕張鉄道保存会、(有)陸別鉄道銀河の森、釧路臨港鉄道友の会、

NPO法人旧狩勝線を楽しむ会、NPO法人トロッコ王国美深、土木写真家・西山芳一

朝日新聞社 北海道支社